

安全操業を最優先とし安定した原材料調達・生産により、高品質な製品を供給することが生産資材本部の使命です。

当社グループは各工場の特徴ある生産技術と生産設備を有し「高品質な製品・サービスの安定供給」を重要方針とし、農薬の有効成分や製剤、各種の化成品を生産し供給しています。安全操業を最優先とし高品質な製品をより安価に安定供給することを使命として生産活動を行っています。品質マネジメントシステムのもと品質保証体制の充実に努めた製造・品質管理を行い、既存設備の改良や最新設備の導入、調達の最適化により生産性の向上・コストダウンを図ってまいります。さらにサステナビリティ経営の考えのもと、複数購買によるサプライチェーンの安定化やCSR調達にも取り組み、環境負荷に配慮した資材の検討や設備の導入など温室効果ガス排出量削減対策も進めるなど、環境負荷低減にも貢献してまいります。



取締役 常務執行役員
生産資材本部長
井川 照彦

製造資本について

静岡工場

静岡工場は、農薬原体(有効成分)を主体とした化学品生産拠点として、医農薬中間体や高機能化学品など顧客のニーズに合わせた有機化合物を



生産し、世界へと供給しています。新たに、当社の農薬中間体硫化カルボニル(COS)を活用した高純度COSガスの生産を開始しました。最先端半導体メモリの製造に必要なエッチングガスとして使用され、化成品事業領域の拡大に貢献します。

小牛田工場

小牛田工場は、エフィーダ®含有剤をはじめとする除草剤の粒剤・豆つぶ®剤・ジャンボ剤・顆粒水和剤と殺虫剤および殺菌剤の乳液剤・フロアブル



剤の生産拠点です。2025年には最新設備の導入により自動化運転が可能な乳液剤・フロアブル剤の製造プラントが完成し本格稼働を開始しました。また、老朽化していた事務所棟および守衛所の新築工事が完了し、新しい事務所棟での業務をスタートしました。

龍野工場

龍野工場は、エフィーダ®含有剤をはじめとする除草剤の乳液剤・フロアブル剤、ディザルタ®含有剤をはじめとする殺菌剤および殺虫剤の粒



剤・水和剤・顆粒水和剤などの各種剤型に対応した生産設備を有し、多種少量生産が可能なマルチ工場です。2025年には自動化運転が可能で多種包装規格に対応できる乳液剤・フロアブル剤の包装設備を更新し本格稼働を開始しました。

尾道工場(尾道クミカ工業)

連結子会社である尾道クミカ工業はクミアイ化学の尾道工場として発



足し、農薬の粒剤・水和剤の製剤・包装、農薬中間品や工業化学品の粉碎加工等の受託生産を行っています。微粉碎、混合粉碎、物性改変等多種の設備を有し、農薬事業で培った微粉碎技術を活用して幅広い分野に対応できる粉体加工を特徴としています。

生産技術について

研究開発本部と連携した製造技術の確立、改善

当社では新規農薬の創製から工業化に向けた原体の合成方法の最適化、実生産を想定したプロセス開発、さらに最終製品である製剤の確立までを化学研究所(ShIP)で一貫して行います。この過程で生産現場と研究所が緊密に連携することで、実験室レベルから生産レベルへ早期にスケールアップし工場での製造法確立につなげています。

また、既存の原体および製剤においても、製造コストの削減、生産の効率化のために工場と研究所が連携して継続的な改善に取り組み、高品質な製品の安定した供給に貢献しています。

有機合成技術

静岡工場には、小規模から大規模まで対応できる多種の汎用設備(マルチパーパスプラント)を備え、長年にわたり蓄積した有機合成技術を駆使して幅広い反応を行うことが可能です。また、自社廃棄物処理設備の活用により、安全で環境に配慮した生産に寄与しています。

これらの設備と技術を活用して、農薬原体から高機能化成品までさまざまな分野でお客様のニーズに合わせた

有機合成化合物の受託合成が可能です。

農薬製剤技術

小牛田工場および龍野工場には、国内および海外で使用される農薬製剤の各種剤型に対応した製造設備、包装設備を備えています。除草剤、殺虫剤および殺菌剤を剤型ごとに別の工場に分け、コンタミネーションを防ぐとともに補完体制を構築しています。

当社の独自製剤技術を最大限活用した「豆つぶ®剤」は、多様な散布方法が可能で豊富なラインナップにより、作業時間を大幅に短縮できる省力化製剤として、発売以来20年以上にわたりお客様から高い評価を受けています。ドローンによる散布にも最適で、スマート農業の実現にも大きく貢献しています。

また、担い手直送規格に対応した大型規格の包装自動化により、安定した製品供給体制を整えています。

これらの農薬製剤技術を活かして、自社の農薬製品にとどまらず国内および世界の農業に貢献する農薬製剤の受託加工も行っています。

クミアイ化学の調達活動

当社の原材料調達は、①法令の遵守 ②公正な取引 ③知的財産権の保護 ④基本的人権の尊重 ⑤環境への配慮 ⑥製品・サービスの品質や安全性の確保と安定供給 ⑦適正な情報開示と情報管理 ⑧地域社会との共生 ⑨サプライヤーへの働きかけをCSR調達基本方針とし、世界情勢が大きく変化する中での安定調達、コスト削減に努めています。主要なお取引先様には定期的に質問表への回答を依頼し、取り組み状況を確認しています。またパートナーシップ構築宣言に参画しており、調達活動におけるお取引先様との共存共栄の構築を目指します。

お取引先様へのCSR調達質問表の回答結果(2025年度)

質問項目	得点率
I. コーポレートガバナンス	96%
II. 人権	92%
III. 労働	96%
IV. 環境	95%
V. 公正な企業活動	95%
VI. 品質・安全性	98%
VII. 情報セキュリティ	96%
VIII. サプライチェーン	95%
IX. 地域社会との共生	95%

(注) 調達金額実績の高い上位17社(調達金額全体のカバー率 83%;資本関係にある会社・団体は除く)に対する質問。上記項目に関連する複数の質問への回答をもとに得点率を算出。

今後の対応

今後も、安全操業を最優先とし、確実な製品の供給体制を維持することを最大の使命とし、お客様のニーズと信頼に応えるべく、安定した生産および調達に取り組みます。安全性向上、品質向上、効率的生産のための最新

設備の導入や工場機能の強化を図り、働きやすく動きがよいのある工場を実現するとともに、サステナビリティを意識した生産・調達を進め、地球環境に配慮した豊かな社会の実現に取り組んでいきます。